

日韓関係 悪化の根源にあるものは何か

講座概要

日韓関係は1965年の国交正常化以降、改善と悪化を繰り返してきた。かつては交流増大が関係改善につながるという見方もあったが、それほど単純なものではなかった。日韓関係が難しくなった背景として指摘されるようになっているのは、冷戦の終結に伴う国際環境の変化や韓国における民主化・経済成長といった要因である。日韓関係の構造は、なぜ、どうやって変わってきたのだろうか。



講師

澤田克己氏（毎日新聞論説委員）

澤田克己（さわだ・かつみ）1967年埼玉県生まれ。慶應義塾大学法学部を卒業し、91年毎日新聞社入社。慶大在学中に延世大（ソウル）などで韓国語を学ぶ。毎日新聞社では政治部、外信部などを経て99～2004年と11～15年の2回計8年半、ソウル支局で勤務した。最初のソウル勤務では、00年の南北首脳会談や02年の日朝首脳会談、北朝鮮の核問題を巡る6カ国協議などを取材。2回目の勤務では、竹島や慰安婦の問題を巡る日韓関係の悪化に直面した。ソウル勤務の合間となる05～09年にはジュネーブ支局で多国間外交、特にクラスター爆弾禁止条約交渉を重点的に取材した。著書に『「脱日」する韓国』（ユビキタ・スタジオ、06年）、『韓国「反日」の真相』（文春新書、15年、アジア太平洋賞特別賞）、『文在寅とは何者か』（祥伝社、17年）、『新版 北朝鮮入門』（磯崎敦仁慶大准教授との共著、東洋経済新報社、17年）など。訳書に『天国の国境を越える』（東洋経済新報社、13年）。

立教女学院短期大学主催・杉並区教育委員会共催

第8回 立教女学院短期大学図書館公開講座

2017年11月18日（土）立教女学院短期大学 203 教室

13:00～14:30 入場無料



立教女学院短期大学

立教女学院短期大学主催・杉並区教育委員会共催
第8回 立教女学院短期大学図書館公開講座

申込期間

講座開講日の1週間前（11月11日）まで。先着順（定員になり次第締め切ります）

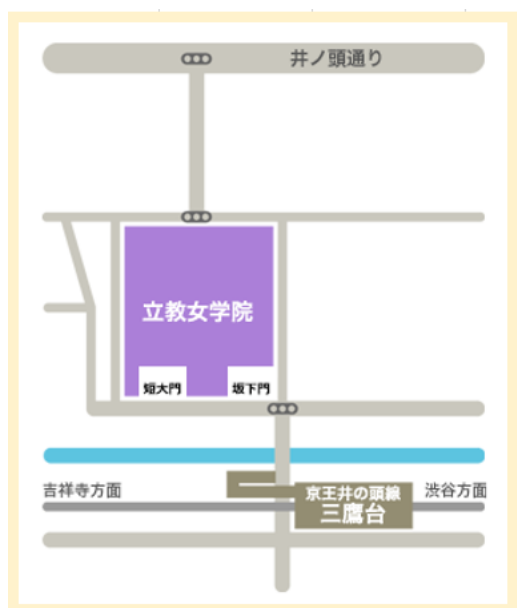
申込方法

「往復はがき」又は「Eメール」にてお申込みください。

郵便番号・住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号を必ず明記して、下記宛にお申込みください。

また、返信用の宛名をお忘れなくご記入ください。「返信はがき」又は「Eメールの返信（印刷したものをご持参願います）」が受講票になりますので、ご家族などの場合でもお一人ずつお申込みください。

- 警備の都合上、坂下門または短大門からお入りください。
- 駐車場はありませんので、お車での来校はご遠慮ください。
- 自転車でお越しの方は公設駐輪場をご利用ください。
- 学生食堂は利用できません。
- 託児所はございません。予めご了承ください。
- 盗難・その他の事故については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 今後、ご案内の郵送がご不要の方は、受講票にその旨明記の上、受付にご提出ください。



申込・問い合わせ

立教女学院短期大学図書館公開講座係

〒168-8626 杉並区久我山 4-29-23

電話 03-3334-7029

Eメール stmlib@rikkyojogakuin.ac.jp